

高校再編整備に係わる魅力づくりの例

1 学校の自主性・自律性の構築に関わる事項

(1) 学校運営に関して（学校長の裁量権の拡大ができるようにするために）

人事の面

- ・各校の魅力づくりまたは特色にあわせて、「教員公募」の仕組みづくり
- ・各校の魅力づくりまたは特色にあわせて、学校長が教員をリクルートできる仕組みづくり

予算の面

- ・魅力ある学校や特色ある学校を推進するために、学校長の裁量で執行できる予算の拡大

(2) 地域、産業が参画する高校

コミュニティ・スクールの設置

地域に根差した高校づくりに関して、学校運営に積極的に地域が参画し、育てて欲しい人材について、人事や学校の方針に意見を言える体制

テーマ・コミュニティの活用

例えば、専門高校などで、企業の先端的技術や発想方法を取り入れるために、地域の産業界が学校運営や教育内容に提言や助言がきる体制づくりや高校側から産業教育の成果を地域社会へ還元する体制

学校運営への参画に関わる研修制度の支援

2 教材開発等に関する事項

(1) 産業界、NPOなどとの連携（インターンシップの拡大、日本版デュアル・システムの導入）

(2) 大学などとの連携（大学や大学生、研究機関による教材開発支援や、学習活動の支援）

(3) 複数の高校が共同で開催する教育活動や学校行事の導入

(4) 情報技術を十分に活用した教育のできる「ＩＴスクール」(生徒や教員一人一人がコンピュータを所持して教育活動が行われる「教育・教科の情報化」を目玉とする学校)

(5) e-Learning による遠隔学習、複数高校間・異種学校間の協調学習や、時間・場所を越えた学習活動の支援、教育に関わる仮想的コミュニティの構築

(6) クラブ活動の活性化・重点化や地域の社会体育との連携

(7) 総合学科高校の教材開発、ガイダンス機能や進路指導に関する研究と配信

(8) 専門高校相互の教材開発や教育内容・指導方法に関する研究と配信

(9) 国際理解教育の推進と国際交流に関わる、姉妹校や提携校の発掘

3 生徒の学校生活支援に関する事項

(1) 小規模校への「特別進学コース」などの設置や、小人数講座編成によるきめ細かい指導の実施

(2) 在籍する高校が全日制、定時制、多部制の別に関係なく単位互換を認め、他校との併修を可能にする体制づくり

(3) 長期休業などの期間中で、集中講座や学習合宿などを複数の高校間で実施

(4) 転科を可能にする学校や、転入学を積極的に受け入れる体制づくり

4 連携に関する事項

(1) 連携型県立高校

学科や課程の異なる複数の高校をネットワーク化することにより、授業や行事、部活動等において、連携拠点校に集まって合同で実施することが可能となる。また、異なる学科を持つ学校間であれば単位制をとることで、互いに単位認定を行ったり、さらには生徒の希望により、連携校間での転校・転科が容易になる。

(2) ジョイント高校

近接する学校が校地を維持したまま統合する。複数学科を有する場合は転科も比較的容易になる。教科・科目の選択幅の拡大や部活動の活性化も図ることができる。